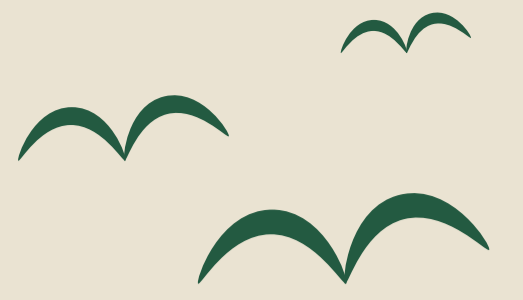
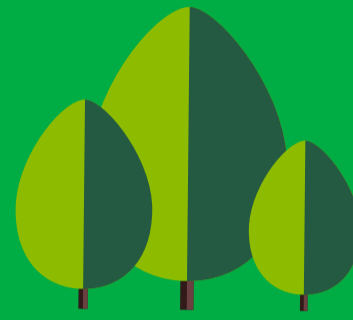


私たちの 生存環境を守るためには？



遺伝子組み換え作物は 生存環境を守るための 一つのツールです

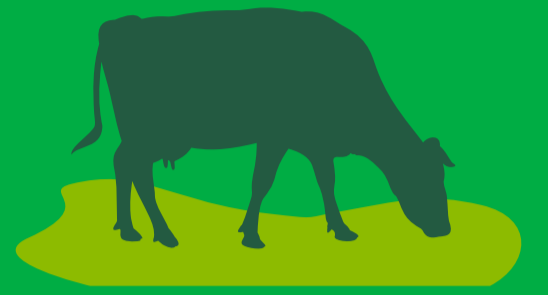
遺伝子組み換え作物は、面積当たりの収穫量が多いので少ない農地で必要な食料を生産することができます。その結果、野生の動植物の生存に必要な生態系を守ることができます。



森林



自然公園



牧草地

12%

2014年には遺伝子組み換え作物のおかげで米国の農地の12%に相当する自然環境を保護することができました¹。
(これは約49万km²であり、日本の国土の1.3倍に相当します)

遺伝子組み換え作物は生態系の保全に貢献しています

殺虫剤の使用を減らします

害虫抵抗性作物により、有益な昆虫などの生存に適した環境を実現することが可能になります。



ミツバチ



チョウ



ミミズ



テントウムシ

1996年以降、遺伝子組み換え作物により殺虫剤の使用量を削減できました²。



25万トン

— ワタの栽培において



8万トン

— トウモロコシの栽培において

¹ Brookes, G. and Barfoot, P. (2016). GM crops: global socio-economic and environmental impacts 1996-2014. Retrieved from <http://www.pgeconomics.co.uk>.

² Brookes, G. and Barfoot, P. (2016). GM crops: global socio-economic and environmental impacts 1996-2014. Retrieved from <http://www.pgeconomics.co.uk>.